

(2) 交流会の企画や準備、また、実際の交流を通して自己の確立、他者への理解（思いやる心）、意欲的に取り組む姿勢や豊かな表現力を育てること。

### 3. 事業実施の事由と背景

(1) 不登校やいじめ、大人に指示をされないと何もできない子供たちの増加や、青年層の社会性が失われていくなかで社会性や自己の確立と、他者に対する理解を深める必要が生じてきた。

(2) 過疎が進み、暗いイメージをいだきがちな雪国の暮らしを、雪を知らない人たちとの交流を通して、明るいイメージや地域づくりの担い手として活躍していく青少年を育てる必要があった。

(3) 南北朝時代、中条に本拠地があった大井田氏が、備中福山城にて戦ったという時代的な背景。

堅苦しい文となりましたが、これらの内容で当時の文部省に事業申請をしました。すぐに事業採択がされ、市の助成金などを活用しながら交流を行ってきました。将来的に助成事業がなくなり、交流を実施することが困難になるとの考えから、支援団体として「虹の会」が誕生をしました。

交流の継続は、子供たちに様々な経験と体験をしてもらうなかで、「自立する心」、「他者を思いやる優しさ」、「地域の将来を担える人材育成」など、地域ぐるみで子供たちを育てること。つまりは次代を担う子供たちの成長について、保護者、地域、学校、行政がそれぞれの立場で責任を持ち、見守る必要があるための重要な役割を果たす「手法」であると思います。

このやまて交流は個人負担もありますが、基本的には虹の会会員皆様の会費で今も継続することができています。また、去年はチンコロ伝承会様より、39万円もの浄財を「虹の会」へ寄付していただきました。

会員皆様一人一人のご協力、地域の皆様のご協力なくしては、交流に継続はありません。皆様から事情をご賢察いただきまして、これまで以上のお力添えを賜りますようお願いを申し上げます。

●○ありがとうございます●○

ちんころ伝承会様より 39万円  
ものご寄付いただきました。

●○お知らせ●○

やまて交流について  
冬の交流日程は2月13日から15  
日となります。みなさんの温かいご  
支援とご協力をお願いいたします。